

二〇二一  
647  
2024

# しらゆり

〒873-0001 杵築市杵築296  
TEL 0978(63)3300  
FAX 0978(63)3370

## 白百合幼稚園

### 二月のことば

先日、義姉家族が私たち家族の家を訪ねてくれました。私の息子は1歳、義姉の息子は2歳。たった二泊三日の滞在でしたけれども、兄弟がいる家庭の大変さを味わったような気がいたしました。お母さんお父さんを独り占めできない、おもちゃの取り合いが起ころ、違う食べ物を食べていたら他方を欲しがる...。私自身6人兄弟ですが、育てる側の気苦労の多さを初めて感じた瞬間でした。

しかし同時にこどもはこうして、他者との出会いを通して練られ成長していくのだと感じました。たくさん戸惑いやもどかしさ、そういつた小さな心の大きな葛藤の中でも、友だちとのやりとりの深まり、相手のすることに喜んで自分との違いを認めて憧れたり、また、思いがけない気づきが生まれたり、こどもたちはそのようにして育ち合う。「人が独りでいるのはよくない。彼に会う助けける者造ろう」神さまは人間をお創りになられたその最初から、人が独りでいるのは良くないことをお分かりでした。そうして人と人とお互いに交わりを持ちながら、助け合い励まし合う関係の中で生きていく世界を、神さまはお創りになられたのです。私たちはみな、神様から愛されています。自分が愛されて存在を喜ばれていることを心に留めることができれば、それぞれの考え方や個性の違いの中でも、すてきに育ち合えるのではないのでしょうか。残り2か月、互いに育み合う光の子どものための歩みとなりますように。

『人が独りでいるのはよくない。彼に合う助けける者造ろう』  
(聖書)

### ◎二月の保育目標

#### 『優しい心と強い身体』く動き出すく

【聖句】『イエスはますます知恵が加わり、背丈も伸び、そして、神と人から愛された。』

- ↑寒さに負けないで戸外で身体を動かして元気に遊ぶ。(マラソン・縄跳び・鬼ごっこ)
- ↑冬の生活習慣を身につける。(手洗い・うがいの徹底)
- ↑お互いの違いを認めつつ、助け合える喜びを感じる。
- ↑友だちと協力し、アイデアを出し合いながら工夫して遊びを充実させる。
- ↑季節の変化を感じ取りながら、さまざまな自然事象に興味・関心を持つ。(赤・青・黄・緑の発見)
- ↑地震で被災された方々、病気のお友だちや世界中の困っているお友だちのために祈りをする。

### ◎二月の行事予定

- 二日(金) 豆まき大会
- 十六日(金) 生活発表会 9時半
- 二十日(火) 工作教室
- 二十七日(火) 茶道教室
- 二九日(木) お話クラブさん来訪日
- 二九日(木) 避難訓練(地震想定)

- ・体操教室 7日
- ・英語教室 8日
- ・お琴教室 15日
- ・絵画教室 9日

### ◎一月の行事報告

☆9日(火)、第3学期の始業式を行いました。冬休みの間家庭で過ごしてきた子どもたちが久しぶりに登園し、共に礼拝を守り、学年末の学期を四人揃って元気に始めることが出来ました。早速、この日から朝のマラソンも始まりました。冬の寒さに負けず、戸外に出て身体を動かして一日の始まりにしていきたいと思えます。

☆三学期の始まりの一週間は、日本伝統的なお正月遊び(凧あげ・こま・かるた・お手玉・おはじき)を皆で楽しむことができました。毛筆で『書き初め』にも挑戦しました。また、園庭の落葉を集めて、たき火をしながら、年末に市役所の農林水産課から頂いたお芋で『焼き芋』をし、年末に市役所。黄色のほっかほか・あつあつのお芋を皆で頬張り心もお腹もいっぱいになりました。今学期も、一つ一つの小さな体験を通して、ますます心豊かに成長して欲しいと思います。

☆12日(金)、クリスマスにお捧げ頂いた献金を能登半島地震の被災者の方々にお届けするために、杵築市役所の義援金窓口を持って行くことが出来ました(22,300)。自分のことばかりではなく、広く社会や世界にも目を向けて、困っている人々を覚えてお祈りできる子どもも、互いに助け合うことの出来る子どもになってほしいと思います。

☆16日(火)、親子茶道教室を行うことが出来ました。月に一度のお稽古を重ねてきた子どもたちが、学年末にお家の方をお招きしてお点前をご披露しました。幼稚園から親子で一緒に富坂の柳家さんまで歩いて行き二階の和室で一人ずつお茶を点て、お家の方にお抹茶を飲んでいただきました。今年の干支にちなんだお菓子、龍の最中も美味しかったです。感謝！

☆26日(金)、キリスト教保育連盟主催で行われた『ストロークコンサート(真愛幼稚園・白百合幼稚園合同)』に参加することが出来ました。講師の神谷先生は、世界的に活躍されているストローク楽器奏者で、先生手作りのカラフルなストロークから奏でられる楽しい曲に、子どもたちは終始大喜びでした。『しあわせなら手をたたこう』では、ストロークで作られた手が拍手するたびに歓声が上がりました。『そうさん』ではストロークの鼻がユラユラと動き、『しゃぼん玉』では実際にシャボン玉が出てきたので会場から、驚きの声が上がっていました。園児も保護者も夢と驚きがいっぱいのストロークワールドでした。保護者会主催でしたので、お家の方も沢山みえられていました。杵築からは、工藤樹くんのお母さんが参加してくださいました。感謝！



『鬼はそと、福はうち、お面の準備ができましたt!!』 2024. 2. 1